

診療科研修コース
診療科研修名【外科コース】

1. 診療科(専門領域)
外科(消化器・一般外科)
2. コースの概要
外科系基礎プログラムと外科プログラム(基礎領域)を終了し、さらに専門的に消化器外科に対する研修を希望する者には2年の専門領域の研修も可能
(本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談のうえ決定)
3. 取得資格
3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()
5年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()
4. 長期目標
 - ・外科診療に必要な基礎知識の習熟
(局所解剖、病理学、病態生理、腫瘍学、輸液・輸血、血液凝固と線溶現象、栄養・代謝学、外科的感染症、免疫学、創傷治癒、周術期管理、救命救急治療)
 - ・医の倫理に基づいた適切な態度の習得
(外科診療における適切なインフォームドコンセント、ターミナルケア、コメディカルスタッフとの協力・協調)
 - ・外科学の進歩に合わせた生涯学習を行う方略の習得
 - ・外傷の診断治療
5. 取得手技
 - ・超音波検査の実施と病態の把握
 - ・単純エックス線、マンモグラフィー、CT、MRIの読影
 - ・上部・下部消化管造影、血管造影の適応決定と読影
 - ・上部・下部内視鏡検査の必要性の判断
 - ・麻酔手技
 - ・一定レベルの手術を適切に実施できる能力習得
(消化管・腹部内臓外科、乳腺外科、頸部・体表・内分泌外科、鏡視下手術)
6. 研修期間
3年間
7. 募集人数
2名

8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数（年間）	目標症例数（年間）
胃 癌	90	10
大腸癌	90	10
肝・胆・膵癌	50	5
胆石症	110	20
鼠径ヘルニア	105	20
肛門疾患	60	10
乳 癌	30	5
甲状腺腫瘍	10	5

手術	件数（年間）	目標件数（年間）
胃切除	90	10
結腸切除	50	10
直腸切除	40	5
肝切除	25	5
腹腔鏡下胆嚢摘出術	95	20
鼠径ヘルニア修復術	105	20
痔核手術	40	10
乳房切除	30	5
甲状腺切除	10	5

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 10 名、非常勤 2 名

診療科研修の指導にあたる医師 9 名

主として研修指導にあたる医師の氏名

堀内哲也

〃

診療科経験年数

28 年

10. コンセプト

- ・ 外科専門医修練カリキュラム（日本外科学会）に準じ、外科診療に必要な基礎知識の習熟、外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技の習熟、一定レベルの手術を適切に実施できる能力の修得、医の倫理に基づいた適切な態度の習得、外科学の進歩にあわせた生涯学習を行う方略の習得を目標としている
- ・ さらに高度な消化器外科の専門性を高めた専門医を育成する

11. 一般目標

- ・ 肝・胆・膵の癌をはじめ、胃癌、大腸癌、食道癌など消化器疾患を中心に甲状腺や乳

腺疾患、ヘルニア、痔疾患なども含めた広い領域の外科治療を修得するため、診療に必要な基礎知識、検査・処置・麻酔手技の習熟と、一定レベルの手術を適切に実施できる能力、医の倫理に基づく適切な態度、生涯学習を行う方略の習得を目指す

1 2 . 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

1 3 . 共通領域研修について

- ・ 医療安全研修会の開催（年 4 回）
- ・ 消化器科、外科、放射線科との合同カンファレンスの開催（月 1 回）
- ・ キャンサーボード（月 1 回）
- ・ がん診療アップデート（地域がん診療拠点病院としての研修）（年 1 回）
- ・ 結紮と縫合の研修会（年 2 回）
- ・ エコーガイド下 CV カテーテル挿入の講習会（年 1 回）